

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード		3-2-3		事業名「さっぽろごみプラン21」の改定	
担当	環境局環境事業部計画課 濱田 211-2912				
全 体 計 画 (当 初)					
事業内容	廃棄物減量等推進審議会を開催し、(審議のための各種調査及び資料作成、審議会の運営、市民・事業者等の意見聴取のための公聴会の運営等) 一般廃棄物処理基本計画「さっぽろごみプラン21」を改定する。 併せて、情報誌(さっぽろごみゼロニュース)を発行するとともに、審議経過を清掃ホームページへ掲載して情報発信を図る。			<年度別の事業内容>	
				平成16年度	基礎調査及び審議会運営
				平成17年度	基礎調査及び審議会運営
				平成18年度	計画書印刷等
事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容(決算)			平成17年度事業内容(決算)	
	改定にあたって開催する予定であった「札幌市廃棄物減量等推進審議会」は、委員日程などにより、開催できなかった。そのため、関係業務も審議に必要となる基礎資料の作成までを行った。 また、情報誌(さっぽろごみゼロニュース)により、審議会に先立って設置して、「さっぽろごみプラン21」の強化・充実・改善のためにさまざまな議論を行ってきた、「さっぽろごみゼロ会議」の内容を関連する情報として提供した。			一般廃棄物処理基本計画「さっぽろごみプラン21」の改定のために、廃棄物減量等推進審議会を開催した。併せて、審議のための各種調査及び資料作成を平成16年度に引き続き行うとともに、情報誌(さっぽろごみゼロニュース)を発行し、また審議経過を清掃ホームページへ掲載して情報発信に努めた。	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)			評 価 (成果)	
	答申に向け、17年度に実施した市民意見交換会での意見や課題を継続して審議する必要があったため、廃棄物減量等推進審議会を引き続き開催した。この中で、審議会の主催による「シンポジウム」、「公聴会」を開催して市民や事業者などから意見の聴取を行った。これらで出された意見を踏まえて答申をまとめた。 また、17年度と同様に審議にかかる運営及び資料作成などの関係業務や情報誌(さっぽろごみゼロニュース)発行を行った。			○数多くの市民意見の聴取や廃棄物減量等推進審議会の開催を通じて、十分な議論に基づく答申を得た。(審議会の開催回数:本会議9回、有料化検討部会4回、グループ会議13回、起草委員会3回、作業部会5回、市民意見交換会10回、シンポジウム1回、公聴会1回) ○情報誌「さっぽろごみゼロニュース」を発行し、審議経過やごみ減量に関する情報発信を行った。(16年度:8月、10月、1月発行 17年度:6月、12月、3月発行 18年度:8月、11月、3月発行)	
課 題					
市民意見交換会などで寄せられた数多くの市民意見を踏まえて徹底的に議論を尽くすという観点から、審議会での議論が深められたため、答申を得るのが18年度末(19年3月28日)となった。 このため、当初18年度内に予定していた「さっぽろごみプラン21」の改定作業は19年度に行うことになった。					
19年度以降の方向性・事業の予定					
廃棄物減量等推進審議会からの答申を基に、平成19年度内に札幌市一般廃棄物処理基本計画「さっぽろごみプラン21」の改定を行う。					

施策体系コード		3-2-3			事業名		「さっぽろごみプラン21」の改定				
事業費の推移											
項目				16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)			
計画	事業費			7,260	7,740	5,000	20,000	—			
	財源内訳	国・道支出金					0	—			
		市債					0	—			
		その他の					0	—			
実績	一般財源			7,260	7,740	5,000	20,000	—			
	事業費財源内訳	事業費		1,792	16,694	13,275	31,761	158.8			
		国・道支出金		0	0	0	0	—			
		市債		0	0	0	0	—			
		その他の		0	0	0	0	—			
一般財源			1,792	16,694	13,275	31,761	—				
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)											
全体 16年度 17年度 18年度 16年度は、改定にあたって開催する予定であった「札幌市廃棄物減量等推進審議会」が、委員日程などにより、年度内開催を延期せざるを得なかったため、関係業務も、審議に必要となる基礎資料の作成に留める結果となった。 17年度は、審議会の意向により、当初想定していなかったグループ会議が開催されるなど審議日程の大幅な変更により、年度内での答申までに至らなかった。そのため、当初予定していたパブリックコメントなどの意見聴取は実施しなかった。 18年度は、答申に向けて審議会を継続して開催(本会議及び作業部会)し、シンポジウム及び公聴会を通じて市民意見を聴取するなど、より深い議論を必要としたことから18年度末での答申となった。そのため、「さっぽろごみプラン21」の改定作業は19年度にずれ込むことになった。また、17年度と同様、審議経過についての情報提供(情報誌「さっぽろごみゼロニュース」の発行)を行った。											
主な施設、サービス等の整備水準											
項目				15年度末 (現状)	16年度末 (実績)	17年度末 (実績)	18年度末 (実績)	18年度末 (目標)			
関連予算事業内訳											
予算事業名(小事業名)						経・臨 臨時	枠内外 枠内	16年度	17年度	18年度	計
さっぽろごみプラン21改定費								1,792	16,694	13,275	31,761
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0
											0